

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
2009年度第2回常任幹事会議事要録

日時：2009年12月11日（金）15時～16時50分

場所：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館

出席：愛知淑徳大学（武藤 まり子），中京大学（中河原 省三，渡辺 英二）

豊田工業大学（井上 映子），同朋学園大学（角田 久子）

南山大学（栗山 義久），愛知大学（桂 三幸）

愛知学院大学（足立 祐輔），金城学院大学（鈴木 卓美）

名城大学（中山 秀治）

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（岸 恭一，守田 正江，八鳥 麻子）

敬称略

議事に先立ち、理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館長（岸）の挨拶があった。なお議事進行は理事校（岸）が担当し、下記の議題を協議した。

[報告事項]

1. 私立大学図書館協会関係

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より資料（p.1～2）に基づき東西合同役員会、2009年度総会・研究大会、常任幹事会等について報告がなされた。

2. 西地区部会関係

理事校（守田）より資料（p.3～5）に基づき西地区部会役員会、総会ならびに館長懇話会、研究会、2010年度研究会運営委員会について報告がなされた後、2010年度研究会について当番校金城学院大学（鈴木）より詳細な説明があった。

3. 私立大学図書館協会委員会関係

(1) 研究助成委員会

理事校（守田）より資料（p.6）に基づき課題研究のテーマ、2009年度研究助成の変更等について報告がなされた。

(2) 協会ホームページ委員会

協会ホームページ委員会委員渡辺（中京大学）より第1回委員会については口頭で、第2回委員会については資料（p.6）に基づきホームページの更新状況、加盟館名簿の管理、サイトポリシー、協会ホームページの管理・運営、メーリングリストのメンテナンス等について報告がなされた。

(3) 国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員会委員桂（愛知大学）より資料（p. 7～10）に基づき委員会、寄贈資料搬送事業、海外派遣研修、海外集合研修、国際図書館協力シンポジウム、国際図書館協力基金等について報告がなされた。

4. 東海地区協議会関係

理事校（守田）より資料（p. 11）に基づき総会、拡大常任幹事会について報告がなされた。

5. 東海地区協議会研究会

研究会運営委員会委員長校中京大学（中河原）より資料（p. 12～15）に基づき運営委員会、各担当者会議、研究会、海外出版社合同勉強会、図書館見学会について報告がなされた。

6. 図書館管理・運営実務責任者会議

図書館管理・運営実務責任者会議運営委員会幹事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より資料（p. 16）に基づき運営委員会及び会議について報告があり、参加者アンケートから会議は概ね好評であったとの報告がなされた。

7. 東海地区大学図書館協議会

東海地区大学図書館協議会運営委員校同朋学園大学（角田）より12月3日にあった図書館職員基礎研修について報告がなされた。

[協議事項]

1. 2010年度委員校について

理事校（守田）より資料（p. 17）に基づき説明があった。西地区部会の役員校・当番校一覧の各地区研究会幹事校の欄について、東海地区は今後、研究会運営委員会委員長校名を載せる方向でよいかと提案があり了承された。

研究会運営委員会委員長校中京大学（中河原）より、運営委員校には2011年度主幹事校予定の名古屋学院大学に加わっていただきたいと提案があり了承された。

2. 2010年度以降の理事校・役員校等について

理事校（岸）より資料（p. 18, 参考資料）に基づき、2017年度以降の役員校・当番校は、西地区部会役員会で承認された輪番制が適用されることとなり、東海地区が担当する2017～2018年度の会長校について、現会長校（関西大学）任期中に決定してほしい旨の依頼が西地区部会長校（同志社大学）よりあったと説明された。理事校（守田）より、依頼理由等の補足説明があった。その後、会長校の選出に関して、最終決定の時期の確認や、現時点では大学に内諾をとるのは難しいのではないかといった意見や、理事校ローテーション表記載校全てで会議をしてはどうかという提案等があり、理事校（岸）より、できれば来年度中に会長校を決定したいと発言があった。

[その他]

1. 2010年度東海地区協議会および関連団体行事予定表について

理事校（守田）より資料（p.19）に基づき2010年度の行事予定（2009年度の今後の予定を含む）について報告があった。また、資料には記載していないが東海地区大学図書館協議会の総会を8月上旬に開催予定であると補足があった。

2. 研修会について

南山大学（栗山）より、新人向け研修会を東海地区協議会と東海地区大学図書館協議会で共同開催する等負担軽減を検討してはどうか、と今後の研修会のあり方について提案があった。